7 月 25 日（月）再びゲート前に結集

宮崎の自然と未来を守る会青木さんと語る哲演さん

左から 1 号機、2 号機，3 号機

原発を凝視する斉間淳子さん

斉間淳子さんは、伊方原発から直線距離で約１０ｋｍの八幡浜市に居住し、１９８１年９月におきた伊方原発近海での魚の大量死をきっかけに、子どもたちを 守りたいという気持ちから、原発反対運動を始めました。チェルノブイリ原発事故後の１９８８年２月、四国電力が伊方原発の出力調整実験を行うことを発表したのに対し、斉間さんが中心となって『八幡浜・原発から子どもを守る女の会』を結成。

横断幕、旗の撤去を求める県警

市民の抗議により妨害行動に失敗し引き上げる機動隊

ゲート前には「福島を忘れるな」ののぼり旗が

伊方原発前で訴える中嶌哲演さん

ふるさとのみかん畑を守れ

伊方庁舎前に集まった集会参加者

伊方町で 20 年ぶりに行われた町内デモ（7 月 25 日）